

国際シンポジウム「暮らしと自然と文化的景観」報告

目 次

序文

全体スケジュール／概要	1
<u>1. エクスカーション</u>	2
<u>2. シンポジウム「暮らしと自然と文化的景観」</u>	
■ プログラム	8
■ シンポジウム講演内容	
国際シンポジウム主催校挨拶	
佐無田 光（金沢大学 教授）	9
<Session 1> 自然の中の暮らしと景観	
招待講演 1 : Ken P. Yocom（ワシントン大学 准教授）	
「The LIVING City: Systems and Infrastructures for Biocultural Diversity」	12
研究発表 1 : 奥 敬一（富山大学 准教授）	
「景観をどのように理解するか」	25
研究発表 2 : 萩の ゆき（まるやま組）	
「土地に根ざした学びの場 —まるやま組の活動をとおして—」	32
セッション1のまとめ	
Ken P. Yocom（ワシントン大学 准教授）	37

<Session 2> 暮らしの文化と景観	
招待講演 2 : Valentina Orioli (ボローニャ大学 准教授)	
「The Cultural Landscape of Bologna between Conservation and Valorisation」	38
研究発表 3 : Juan Pastor Ivars (国連大学 サステナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット 研究員)	
「金沢市の文化的景観におけるレジリエンスとサステナビリティ 卯辰山麓・東山ひがし保存地区と心蓮社庭園の事例」	48
研究発表 4 : 丸谷 耕太 (金沢大学 助教)	
「ものづくりの文化多様性」	53
セッション 2 のまとめ	
Valentina Orioli (ボローニャ大学 准教授)	58
<Session 3> 金沢・石川における自然と文化	
研究発表 5 : Mammadova Aida (金沢大学 特任助教)	
「地域再活性化の機会：障害を持つ人々のケアを通して学んだ教訓」	60
招待講演 3 : 土肥 真人 (東京工業大学 准教授)	
「金沢・能登に観るエコロジカル・デモクラシー」	65
セッション 3 のまとめ	
土肥 真人 (東京工業大学 准教授)	75
■ シンポジウム ディスカッション	76
■ 総括	
佐々木 雅幸 (同志社大学 教授)	79